

## 令和5年度 島根県高等学校青少年赤十字メンバー秋季協議会

会場 出雲市民会館

《午前の部》

**研究発表** 避難所運営ゲーム HUG ～「もしも」のときに安心・安全な避難所生活を送るために～

昨年から取り組んでいる安心・安全な避難所づくりについて、全体会で発表しました。出雲市から講師を招き避難所がどのように作られ運営されるのか、HUGを通して学び、原稿やスライド作成をしました。前日まで、部員全員で校正を重ね、納得のいく内容になりました。



優秀賞を受賞しました。

### 活動報告

相手に分かりやすく伝えるように意識して説明しました。



《午後の部》

**起震車体験** 東北大震災の震度7を体験しました。震度6強と震度7でも揺れの大きさは全く異なり、必死に手すりやテーブルを掴んで揺れが収まるのを待ち、地震の恐怖や災害時に身を守ることの大切さを実感しました。

**高齢者疑似体験** 装具を装着し、階段や廊下を歩きました。水中で人の声を聞いている様で相手の声が聞き取りにくかったり、歩幅が狭くなり自分の意志の通りに動くことが難しかったり、移動にとっても不安を感じました。

**「赤十字この1年2022」ビデオ視聴** 世界中の赤十字社が協力して、地震や戦争の被災地に出向き多くの命を救っていることがわかりました。



『気づき・考え・実行する』

秋季協議会に参加して、「いつもとは違う立場(発表者-高齢者)から物事を見ることができ、相手の気持ちを考え、臨機応変に行動する事の大切さに気づいた。」また「自分の考えを行動に移せるよう、日々積極的に動くことを心がけようと思った。」などの感想が聞けました。